**（申請様式1）**

記入要領、記入例は削除して提出ください

A4・12枚を目安にポイントをおさえ、査読者が読みやすいよう留意して作成。

**SCORE –チーム推進型- 申請書**

　　年　　月　　日提出

**1．課題名**

（記入例）　○○○技術の事業化検証

**2．SCOREでの活動概要**

SCOREでの活動内容全体が分かるように１５０文字以内で簡潔に記述してください。

図、表の使用は不可です。課題が採択された場合、本内容を公開することがありますので、

留意してください。e-Rad上の研究概要に転記いただきます。

**3．研究代表者の連絡先情報**

＜研究代表者＞

氏名：　　　　　　　　　　　　フリガナ：

生年月日：　西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関：

部署　　　：　　　　　　　　　　　　　役職：

住所　　　：　〒

電話番号： E-mail：

＜事業化プロデューサー＞

氏名：　　　　　　　　　　　　フリガナ：

所属機関：

部署　　　：　　　　　　　　　　　　　役職：

住所　　　：　〒

電話番号： E-mail：

**4．技術分野**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発分野 | チェック欄 |
| ライフサイエンス | ※左の表で該当する分野のチェック欄に、  「レ」を記入ください（複数選択可）。  ※「その他」の場合は内容を自由に記載ください。 |
| アグリカルチャー |  |
| 環境・エネルギー |  |
| ナノテクノロジー・材料 |  |
| 情報通信・データ |  |
| その他 |  |

　「その他」の研究開発分野の内容　：

**5．技術シーズの内容**

(1)発明（周辺特許を含む）

※当該技術シーズに関する主な知的財産権などを記載ください。

※特許の場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日、

　　単願or共願を記載ください。

　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、

20xx年y月z日出願、単願

※特許以外の知的財産権の場合、上記同様の情報を記載ください。

※特許を保有していない場合は、今後の知的財産権戦略を記載してください。

※この項目は、上記以外記載しないでください。

（2）内容・特徴

※背景、現状の問題点、競合技術に対する独創性・新規性、これまで得られた研究成果を、

図表やデータを用いて具体的に記載してください。

※特許化によらないノウハウやソフトウェア等に関する技術の場合は、

その詳細について記載ください。

(3)当該技術シーズに関する企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況

※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、

その状況について具体的に記載ください。

※将来、当該技術シーズによるベンチャーを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが

帰属する機関等（共願人）の同意が得られているか、その他に関連する発明が無いか、などについて

記載ください。

(4)当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度

※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などについて

記載ください。

(5)研究開発の業績

※提案の技術シーズに関係する研究論文や著書があれば記載ください。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、概要も含めて記載ください。

※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。

（本様式のページ制限（A4・12枚までを目安）を遵守ください）

**6．ビジネスモデル仮説の概要**

※現時点で想定しているビジネスモデルの概要について記載してください

（図表等を用いても可）

※顧客のどのような「課題」を解決するのか。

※「何を」事業として提供することによって解決するのか

※プロダクトやサービスを「誰に」対して提供し、どのように料金をもらうのか

※そのプロダクトやサービスをどのように生産して顧客に提供し、

どうやって事業を拡大していくのか

**7．事業化に向けた検証活動の概要**

(1）顧客候補

※現時点での顧客候補について記載ください。

※既にコンタクト可能な顧客候補ヒアリング対象があれば記載ください。

※コンタクトするためのネットワークを持っていない顧客候補については、

どのような手段でのコンタクトを考えているのか、記載ください。

(2）顧客候補への検証活動で明らかにしたい仮説

　(2-1)明らかにしたい仮説１

　　・仮説の内容：〇〇〇〇〇

　　・顧客ヒアリング時期：〇月

　　・仮説検証に必要なエビデンス：〇〇〇

　　　　（これまで取得してきた技術検証結果、ビジネス検証結果、今後取得する実験データ、試作品の機能等）

　(2-2)明らかにしたい仮説2

　　・仮説の内容：〇〇〇〇〇

　　・顧客ヒアリング時期：〇月

　　・仮説検証に必要なエビデンス：〇〇〇

　　　　（これまで取得してきた技術検証結果、ビジネス検証結果、今後取得する実験データ、試作品の機能等）

　(2-3)明らかにしたい仮説3

　　・仮説の内容：〇〇〇〇〇

　　・顧客ヒアリング時期：〇月

　　・仮説検証に必要なエビデンス：〇〇〇

　　　　　（これまで取得してきた技術検証結果、ビジネス検証結果今後取得する実験データ、試作品の機能等）

※可能な限り、「明らかにしたい仮説」と「仮説検証に必要なエビデンス」を紐付けして

記載ください。

※適宜項目を追加・修正して構いません。

※仮説については、技術的な内容のみでなく、ビジネス的な内容も記載ください。

(3）活動スケジュール

最小限の試作品準備

これまでの実験データ整備

　（記入例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 2021年 |  |  |  |  | 2022年 |  |  |
| 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| SCORE  研修イベント |  | 集合研修 | 集合研修 | 集合研修 | 集合研修 |  | Demo Day |  |
| 活動内容 |  |  | ヒアリング  （仮説検証１） | ヒアリング  （仮説検証3）  ヒアリング  （仮説検証2）  市場調査 |  | DemoDay準備 |  |  |

※（2）で記載した明らかにしたい仮説を検証するために、スケジュールを記載してください。

※適宜項目を追加・修正してください。

**8．ベンチャー起業に係るモチベーション、経験について**

(1) 本技術シーズの社会実装の方法として、ベンチャーを選択した背景、理由

※企業との共同研究やライセンスによる社会実装ではなく、ベンチャー起業により展開を目指す経緯について、

これまでの取り組みや手応え等の背景、理由があれば具体的に記載ください。

(2) 申請者の大学発等ベンチャー起業に対する熱意やコミットメント等について

※大学発ベンチャー設立にかける熱意や決意等について、具体的に記載ください。

(3) ベンチャー企業に参画した経験があれば記載してください。

※参画したベンチャー企業の事業内容、ご自身の役割等を記載ください。

（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

**9．活動の推進体制**

(1)研究代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究開発全体の統括 | 20 |

(2)事業化プロデューサー

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○田○郎 | ○○ | ○○ | ○○ | ビジネスモデル検証、顧客ヒアリング | 20 |

(3)主たる共同研究開発者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究開発項目の中で、○○○を担当 | 20 |

※　研究代表者の所属機関（A）と異なる研究機関（B）に研究開発費が必要である場合、

研究機関（B）における責任者を記載ください。再委託の実施は認めておりませんので、

主たる共同研究開発者の所属する共同研究開発機関とJSTが直接、委託契約を行います。

(4)研究開発参加者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割：分担内容** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士２年 | フィールドテスト補助（リサーチアシスタント） | 20 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士１年 | 事業化プロデューサー業務の補助 | 20 |

チームワークに関するアピールポイント：

※研究代表者、事業化プロデューサー、それぞれが果たす役割、チームワークについて、アピールポイントがあれば記載ください。

**10．研究代表者、事業化プロデューサー、主たる共同研究開発者の専門分野、研究開発経歴等がわかる略歴**

※研究代表者、事業化プロデューサー、主たる共同研究開発者について、

専門分野や研究開発経歴などがわかる略歴を各人につきＡ４・１枚以内で記載してください。

　　ただし、本課題に関係するキャリア等に絞ってください。

**11．利益相反マネジメントに関する検討**

※研究代表者、事業化プロデューサー等が類似事業のベンチャー企業の経営に関与している場合や、研究開発参加者が類似の既存事業に関与している場合などの状況を記載ください

（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

　例）

　　　・研究代表者が大学発ベンチャーＡ社の取締役を兼業している

　　　・事業化プロデューサーが、ベンチャーＢ社の取締役である

※上記状況について、利益相反の関係が想定される場合は、当該関係を具体的に記載し、

実施する利益相反マネジメントを説明ください。

**12．他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）**

・研究代表者および主たる共同研究開発者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）（※）について、研究開発課題ごとに、研究開発課題名、研究期間、役割（代表／分担）、本人受給研究費の額、エフォートおよび本申請との切り分けを記入してください。公募要領「第4章 4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

※応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、令和3年度公募より、「他制度での助成等の有無」（事業によっては「研究費の応募・受入等の状況」）の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

・SCORE申請内容と関連のないものも記載してください。

・間接経費を含めた額を記載してください。

(1)研究代表者：○○○○

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・SCORE申請課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体)が多い順に記入してください。

・SCORE申請の技術シーズとの関連有無に関わらず、記入してください。

・必要に応じて行を増減してください。

【注意事項】

（１）「受給状況」

以下のいずれかを記入してください。

・受給：現在受給中または受給が決定している課題。

・申請：申請中または申請予定の課題。

SCORE申請課題を除き、「申請」に該当する課題についてエフォートは記入しないこと。

（２）「役割」

以下のいずれかを記入してください。

・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給

・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給

（３）「本人受給研究費」

以下に従って、研究費（年度別・総額）を千円単位で記入してください。

（ア）代表者として研究費を受給した研究課題

「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」

が受給した研究費

（イ）代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題

「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの

場合は分担者本人）が受給した研究費

（４）「エフォート」

申請中・申請予定の課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。

また、SCORE申請課題のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください。（e-Rad上で採択の処理ができない場合があります。）

（５）同一の研究代表者は、STARTプロジェクト支援型（with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題への短期集中型を含む）、社会還元加速プログラム（SCORE）チーム推進型、SCORE大学推進型（拠点都市環境整備型を含む）内のGAPファンドプログラムを同時に申請または実施することはできません。ただし申請済み課題の不採択が既に決まっている、または実施中課題が令和2年度末に終了し本公募の実施期間と重複しない場合に限り、本公募に申請可能です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究開発**  **課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (2022年度 予定)**  **(3) 〃 (2021年度 予定)**  **(4) 〃 (2020年度 実績)** | **2021年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | SCORE | 申請 | 課題名  （〇〇〇） | 2020.9  －  2021.3 | 代表 | (3)　　千円 | 9．活動の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） | 2019.4  －  2023.3 | 代表 | (1)　100,000　千円  (2)　 50,000　千円  (3)　 25,000　千円  (4)　 5,000　千円 | 20 |
| ※ SCORE申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | |
| 2 | JST戦略的創造研究推進事業（CREST） | 申請 | ○○の高機能化  （〇〇〇） | 2020.9  －  2026.3 | 分担 | (1)　 60,000　千円  (2)　 20,000　千円  (3)　 8,000　千円  (4)　 - | - |
| ※ SCORE申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | |
| 3 |  |  |  |  |  | (1)　 　千円  (2)　 　千円  (3)　 　千円  (4)　　　　　 千円 |  |
| ※ SCORE申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | |

(2)主たる共同研究開発者：○○○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究開発**  **課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (2022年度 予定)**  **(3) 〃 (2021年度 予定)**  **(4) 〃 (2020年度 実績)** | **2021年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | SCORE | 申請 | 課題名  （〇〇〇） | 2020.9  －  2021.3 | 分担 | (3)　　千円 | 9．活動の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） | 2019.4  －  2023.3 | 代表 | (1)　 50,000　千円  (2)　 20,000　千円  (3)　 20,000　千円  (4)　 5,000　千円 | 10 |
| ※ SCORE申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |
| ※ SCORE申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | |